

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立ゆずりはら青少年自然の里	所管課	社会教育課
所在地	上野原市桐原13880	設置年月日 (改築年月日等)	平成10年7月14日
管理方式	指定管理者(上野原市、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年自然の里設置及び管理条例		
設置目的	①自然の中で、集団生活を通じて自律、協同などを体験的に学習する場を提供すること。 ②主催事業の実施を通じ、自然の中でふるさとを愛するたくましい青少年を育成する機会を提供すること。		
主な施設内容 (定員等)	宿泊棟:一般棟(26人)×3、家族棟(4人)×4、身障者棟(2人)×1、(4人)×1 食堂(96人)、ラウンジ(20人)、多目的ホール(150人) キャンプ場:テント(10人)×10、炊事場、トイレ		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用の承認に関する業務 ○ 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○ 集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 ○ 地域における生活文化の経験学習に関する業務 ○ 野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 ○ 野外活動及びレクリエーションに関する業務 ○ その他教育委員会が必要と認める業務 		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1) 上野原市立地域交流館 (2) 山梨県立なかとみ青少年自然の里:H22利用人数8,744人
-------------------	---

3. 利用状況

単位:人、%

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (目標値)
利用者数	宿泊棟利用	8,483	5,982	7,387	
	キャンプ場宿泊利用	1,182	738	884	
	日帰り利用	1,932	1,971	1,637	
	利用者数合計	11,597	8,691	9,908	
	目標値	12,000	12,000	12,000	10,000
	目標値設定の考え方	利用者が最多となった平成17年度実績を10%上回る数値	同左	同左	少子化による各団体の構成員の減少と東日本大震災の影響による4月以降のキャンセルを勘案して調整
	対20年度比	100.0%	74.9%	85.4%	86.2%
	稼働率	65.0%	51.0%	56.0%	

4. 収支状況

単位：円、%

		平成21年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	25,530,000	25,756,000	25,756,000	34,104,000
	その他	0	0	0	
	収入合計(A)	25,530,000	25,756,000	25,756,000	34,104,000
支出	人件費	8,385,892	8,722,000	8,655,244	17,516,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	16,065,988	17,034,000	16,508,475	16,588,000
	(うち外部委託費)(B)	5,580,002	5,632,000	5,447,663	6,445,000
	支出合計(C)	24,451,880	25,756,000	25,163,719	34,104,000
収支差額(A-C)		1,078,120	0	592,281	0
外部委託比率(B÷C)		22.8%	21.9%	21.6%	18.9%
利用者一人当りの経費		2,201	2,964	2,600	3,410

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成22年4月～23年3月、実施方法：県立ゆずりはら青少年自然の里利用団体へのアンケート、回答数：41団体
-------	--

単位：%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①利用料金	92.7%	0.0%	2.4%	4.9%
②申し込み方法	85.4%	0.0%	12.2%	2.4%
③設備・備品の状況	92.7%	2.4%	2.4%	2.4%
④活動内容	87.8%	2.4%	4.9%	4.9%
⑤施設利用全般の満足度	97.6%	0.0%	0.0%	2.4%
⑥食堂の食事について	48.8%	9.8%	19.5%	21.9%
各項目の平均	84.2%	2.4%	6.9%	6.5%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・施設が利用しやすい距離にある。 ・宿泊室の構造が、非常に使いやすい。 ・大型バスで施設まで入れないので、荷物の搬送が大変だった。 ・食事の料金が低い。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・県道から施設までの道が狭いため、大型車の通行が出来ず不便であるが、都内に近い距離にあり、リピーターにも多く利用されている。 ・食事の料金については、食堂委託業者と交渉の結果、H23年度値下げが実現した。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	利用者が安全かつ良好に利用できるよう、環境整備に努め、また、業者による保守点検等により良好な維持管理ができた。	計画に基づき、適切に執行されていた。 設備の補修は、職員の手によるものが多く、環境整備に努力していた。
運営業務	利用者が体験活動を行うにあたって、適切な指導・助言を行った。 利用が多くなる夏季は休業日に臨時営業をして、利用者の増加につながった。	利用が多くなる夏期に、休業日を変更し営業することで利用者の利便向上を図った。 ホームページによる施設の紹介や、学校訪問等の広報活動を積極的に展開していた。
自主事業		
利用状況	新型インフルエンザの影響は少なくなり、昨年度より利用者は増加したが、3月の東日本大地震以降7団体がキャンセルとなった。	震災までの実績では、順調な利用者数の伸びが見られた。今後もリピーター確保とともに、積極的なPR活動等により、施設の認知度を高め、利用者増加に向けて努力されたい。
収支状況	機器の老朽化による交換・修繕が多くあり修繕費の支出が増えた。また、職員による修繕対応もあり、消耗品の購入も多くなったが、施設整備に努めた。支出の見直しをする中で、節減に努めた。	施設・設備の経年劣化もあり修繕に要する経費が増加するなかで、経費節減に努めていることは評価できる。
利用者満足度	利用者に気持ちよく利用して頂いているため、リピーターが多い。 今後も、新規利用者の開拓に努力していく。	利用者アンケートからは、運営・管理全体を評価する意見が多く見られた。 今後も、利用者の意見を参考にして、より多くの利用者に満足頂ける運営に努めること。
運営目標の達成状況	<p>○H22 利用者数目標値 12,000 実績 9,908</p> <p>○H22 主催事業参加者数目標値 1,340 実績 1,169</p> <p>○3/11に発生した東日本大震災以降、春休み利用の団体が全てキャンセルとなり、利用者数が減じた。</p> <p>○主催事業については、参加予定者の体調不良等による欠席などがあり、87.2%の達成率となった。</p>	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<p>現地確認をしたところ、施設内外とも管理がよく行き届いていた。 県境を越えて、毎年利用頂く団体もあり、利用者満足度調査でも高い評価を得ている。</p> <p>H22年度は避難訓練の実施がなかったが、有事における利用者の安全確保のため、地震、火事のほか、川遊び時の事故など様々な場面を想定した対応訓練・研修等を必ず行うよう指導した。</p>	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<p>今年度新規採用職員もいる事から、職員研修を随時実施しており、避難訓練についても利用者に影響のない日を選んで実施することとする。</p> <p>今後も利用者の安全と利便を最優先に、サービス提供に努めていく。</p>	

7. 管理体制(組織図)

